



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2013.05.17 No.00749

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 05.17】
 クラブ協議会①
 2013-14 年度

次回のプログラム

【通常例会 05.24】
 R 道徳と職業倫理
 横山会員

5月の主な行事：なし

第748回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
 ローターソング：奉仕の理想
 ゲ ス ト：なし
 ビ ジ タ ー：なし

会長報告：長友芳郎



■皆さんこんにちは。先般の地区大会出席ご苦労様でした。初日の会長幹事会には出席しましたが、二日目は欠席しまして大変申し訳ありませんでした。二日目の講演は小惑星探査

「はやぶさ」の講演があったようですが皆さんいかがでしたでしょうか。私自身興味を引く題材でしたので、聞けなくて残念でした。

当日津田RI会長代理が出席されていましたが、プロフィールを拝見しますとアーチクランソサイエティに5000万円寄付されたとありました。勉強不足な為、初めてアーチクランソサイエティを知った次第です。もっとも私には縁のないものですが、ロータリー百科事典から引用して皆さんにご紹介します。

アーチC.クランフ・ソサイエティ (Arch C. Klumph Society) ロータリー財団に対し累計25万米ドル以上の寄付者が、ソサイエティのメンバーとなる。これはロータリー財団管理委員会が2004年10月、寄付者に感謝の意を示し、ロータリー財団の創始者の名前にちなみ、創設した。メンバーには感謝状が贈られ、その写真がRI世界本部内のアーチ・クランフ・ギャラリーに飾られる。(便覧2008) 累積寄付の合計が250,000ドル以上となった寄付者は、アーチC.クランフ・ソサイエティの会員として迎えられ、国際ロータリー世界本部のアーチC.クランフ・ギャラリーに恒久的に肖像写真が飾られます。(rotary.org)

本日のプログラム 地区協議会報告

■ガバナー正式訪問の日程が決定しました、11月15日(金)で、単独で行います。報告書作成に関しては、また各委員の皆さんと打ち合わせを行って進める予定です。分科会後に行われた次期会長・次期幹事合同の質疑応答では、会員の減少に伴う会費の廉価化に関する質問も有りました。

次年度プロジェクトに関連して、牛久ロータリーの次期会長が6月以降に米山奨学生を同行して当クラブへ表敬訪問されるとの事です。(牛久ロータリーの米山奨学生は流経大在学のベトナム人学生)

次年度会長：横澤啓二



次年度幹事：海老原賢

■午前中は、長谷川ガバナーエレクト次年度方針
 ①ロータリー財団の幕開 (未来の夢計画実施年度)
 ②会員増強と退会防止 (各クラブ純増1名以上)
 ③ポリオ撲滅 (残りは、

アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国)
 ④会長賞にチャレンジ
 ⑤公共イメージと認知度の向上
 ⑥ロータリー財団の寄付 (ロータリー財団130ドルポリオ・プラス20ドル)
 ⑦ベネファクター1,000ドル、各クラブ1名以上
 ⑧米山記念奨学金、寄付目標1人25,000円以上
 午後から 幹事の役割と職務
 ホームページへの会員アクセスの仕方



■地区のセミナー、研究会

- ①新世代奉仕研究会 7月13日(土曜日)
- ②ロータリー財団研究会 7月15日(月曜日)
- ③職業奉仕・社会奉仕合同研究会 7月20日(土曜日)
- ④米山合同セミナー 7月21日(日曜日)
- ⑤国際奉仕研究会 8月4日(日曜日)
- ⑥クラブ奉仕研究会 8月10日(土曜日)
- ⑦第一回会長・幹事会 8月25日(日曜日)
- ⑧ライラセミナー 10月19日、20日
- ⑨ロータリー財団、国際奉仕合同 12月8日(日曜日)
- ⑩第7分区 IM 2月16日(日曜日)
- ⑪地区大会(茨城県民文化センター) 4月5日、6日
- ⑫ガバナー公式訪問 (クラブ単独) 11月15日(金曜日)

クラブ奉仕委員会：川上 勉

■分科会の報告をします。

地区役員19名の紹介の後、担当カウンセラー佐藤衛PGからの話では、クラブでもよく話題になる発祥がアメリカであることからキリスト教の影響が大きいとの話がありました。また、規定審議会による人頭分担金の改正で現在10名未満のクラブは10名分を納めていますが15名分に増額の審議が否決され、実数の納付が可決されたようです。現在10～19名、30～39名の地区内クラブが共に25%と多く47名の増加です。



クラブ会員組織・クラブ管理運営・広報雑誌・HP運営・友と各担当者より報告がありましたが、例年と変わらぬ内容でした。

新世代奉仕委員会：山口洋一

■次年度の活動方針を決める地区協議会が上記日程で開催されました。

長谷川年度のクラブ責任者が一堂に会した協議会で、全体会議が前半に開催され、各委員会別の研修会が後半に催された。先だって行われた地区大会と違って、融和なお付き合いの中にも真剣なまなざしが漂っていました。



全体の報告は幹事にお任せして、私が出席した新世代奉仕委員会について、概略の御報告を致します。なお、社会奉仕委員会と隣り合わせの研修室でしたが、新世代委員会室から一歩も離れませんでしたので、社会奉仕委員会については配布資料を回覧させていただきます。最初に、内藤彰・青少年奉仕担当カウンセラーから発表メモが配布され、それに沿ったお話を頂きました。「新世代奉仕が、2010年の規程審議会で、これまでの4大奉仕部門と並んで5番目の奉仕部門となり、2013年の規程審議会で「青少年奉仕」と名前が変わった」ことが強調さ

れました。なお、世界人口白書からの人口問題に関する提案が詳しくなされました。最後には「平和と紛争解決に関する活動」が国際奉仕の分野に加えられました、と結んであります。

それぞれの担当者から次の項目でご説明を頂きました。(全体は斎藤氏)

- ・インターアクトとは
- ・ローターアクトとは
- ・RYLA (青少年指導者養成プログラム)
- ・ロータリー青少年交換 (RIJYEC で検索)

上記4項目のうちインターアクト(宮崎氏)、ローターアクト(軽部氏)、RYLA(山本氏)については、これまで多くの機会にお話を伺うことができました。それぞれの活動内容について直近の状況を丁寧に御説明頂きました。4項目のRIJYECとして石川氏が丁寧に、しかも時間もたっぷり使って説明なさいました。この略語には聞きなれていなかったもので、帰宅してから手続要覧を調べたりして、かえって勉強になりました。とてもこのプログラムを推奨しておられました。この参加者には4Dルールがあり、半年間は身内と会ってはいけない、地区外へ出てはいけない、などとても厳しいルールも設定されているとのことでした。今後勉強します。

研修会の随所で「会員増強」に関する話題がありました。私が職業上で対応している組織もそうですが、会員の減少は大問題です。若い会員をベース(大学サークル等)で獲得し、将来的な会員として育てることが必須の課題と認識しているようです。インターアクト会員、ローターアクト会員、ライラの参加者、交換プログラム参加青年こそがロータリー会員のベースではと、また当該地区の青年会議所メンバーは我々とともに活動する仲間では、考えを巡らしました。私のつぶやきですが、未熟者ゆえまともな参加報告はできません。今後の課題とします。

■出席状況

会 員	16名	出席率	75.00%
出 席 者	9名		
出席免除者	2名	Make-up	3名
定款第9条3節a	1名		

■ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 5 件 9,000 円 (本年度累計 366,000 円)

- 荒木会員：やっとやって来ました。
- 海老原会員：円が100円台になりました。
- 川上会員：地区大会お疲れ様でした。
- 長友会員：地区大会の出席皆さんご苦労様でした。
- 山口会員：地区大会に久しぶりに参加する予定です。
- 横山会員：ロータリーづくしの連休でした。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに 城出 SAA TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。